

—連続公開講座 国土強靱化で日本はどうか？（第一回）—

## 「マクロ経済政策は日本を救うか？」 —経済学の基礎から考える—

昨今話題となっている「国土強靱化」を巡っては、「国土強靱化で災害に強い国土ができる」「国土強靱化による財政出動で景気が回復する」との議論があります。実際、安倍政権は、2012年度補正と2013年度予算を合わせ15カ月予算で合計105.7兆円の「切れ目ない財政出動」に努めるとしています。これらの考え方をどのように理解すればよいのか、公共事業改革市民会議では、「国土強靱化」論を検証するため、テーマごとに専門家を招いて公開講座を企画します。第一回は、経済学の基礎から考えます。ぜひご参加下さい。

《連続公開講座 国土強靱化で日本はどうか？》

第一回 「マクロ経済政策は日本を救うか？—経済学の基礎から考える」

講師：宇都宮 浄人（関西大学経済学部経済学科教授）

講師略歴：1960年兵庫県生まれ。京都大学経済学部卒業。1984年に日本銀行に入学し、マンチェスター大学大学院留学、一橋大学経済研究所専任講師、日本銀行調査統計局物価統計課長、同金融研究所歴史研究課長等を歴任し、現職。

日時 2013年3月15日（金） 13:00～14:00（質疑応答 14:00～15:00）

場所 参議院議員会館 1階 101会議室

最寄り駅：永田町駅／国会議事堂前 12時40分より会館ロビーで入館証を配布

連続公開講座「国土強靱化で日本はどうか？」今後のテーマ（3月～5月予定／順不同）

○「税金の使い方—開発型公共事業か、対人支援サービスへの公共投資か」

講師：湯浅 誠さん（反貧困ネットワーク事務局長、NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい理事、元内閣府参与）

○「巨大防潮堤計画は被災地住民を幸福にするか」（仮題）

講師（予定）：畠山信さん（NPO 法人森は海の恋人副理事長）

○ 国土強靱化でインフラのメンテナンスは万全か？（仮題） など

主催：公共事業改革市民会議

（TEL 045-620-2284 FAX 045-330-5564 [mizumondai@xvh.biglobe.ne.jp](mailto:mizumondai@xvh.biglobe.ne.jp)）

~~~~~公共事業改革市民会議とは~~~~~  
2013年1月、道路・ダム・湿地埋め立て、スーパー堤防などの公共事業や自然保護に取り組む複数の市民団体・個人が結集して立ち上げた団体です。税金の使い方、公共事業に関する課題を共有し、情報発信や政策提言につなげるため、オープン会合（月1回ペース）を開き始めました。